

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（令和２年度採択）

中間評価結果（公表用／ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
2020-9	中性子によるコンクリート塩分濃度非破壊検査の技術研究開発	理化学研究所 チームリーダー 大竹 淑恵	B
<p><研究の概要></p> <p>コンクリート橋等の構造物の主な損傷原因である塩害に対する未然防止、補修費の削減、長寿命化を図るため、コンクリート構造物中の塩分濃度を現場で非破壊にて測定できる中性子ポータブル塩分濃度計の開発を行う。</p> <p><中間評価結果></p> <p>研究開発は順調に進んでいるが、実現現場での省力化・適用条件等を含めた実用化に向けた研究開発を進める必要があることから、指摘事項に留意しながら推進することが妥当であると評価する。</p> <p><今後の研究計画・方法への指摘事項等></p> <ul style="list-style-type: none">・今後塩分計を開発するにあたり解決すべき点（近づけられる距離、振動など）を具体的に示し、それぞれの解決の見通しを立てていただきたい。・点検支援技術性能カタログへの掲載を目指すとともに、掲載後に広く点検に使われるための運用方法についても検討いただきたい。・引き続き道路管理者と十分に意見交換を行い、計測時間、計測箇所を選定、計測精度などの実務上必要となる条件を常に明確にしながらか開発を進めていただきたい。			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第42回新道路技術会議において審議したものである。